

太陽とみどり、伝統とやさしさを未来へつなぐ海辺の町

よなばるちょう

与那原町

市町村コード	473481	類型	IV-2
所在地	〒901-1392 与那原町字上与那原16番地		
T E L	(098)945-2201	F A X	(098)946-6074
ホームページ	http://www.town.yonabaru.okinawa.jp/		
指定地域	都市計画・農業振興・産業高度・情通産振・観光促進		

〈組織〉

(令和3年3月31日現在)

町長	てるやつとむ 照屋 勉 任期 R4.5.1 (1期)	副町長	しろまひでもり 城間 秀盛 任期 R4.6.7 (1期)
副町長	- - 任期 - -	教育長	とうやまつよし 當山 健 任期 R6.3.31 (3期)

〈概要〉

県下 40 位	総面積 R2.10.1	耕地 R2.7.15	宅地 R2.1.1
5.18 km ²		31 ha	1,549,970 m ²

県下 18 位	住基人口 R2.1.1	H27国調人口	H22国調人口
19,982 人		18,410 人	16,318 人
年少人口割合 18.9% (県全体 17.5%)	高齢化率	18.5% (県全体 19.6%)	

住基世帯数 R2.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
8,346 世帯	7,003 世帯	5,805 世帯

有権者数 R3.3.1	男	女
15,577 人	7,498 人	8,079 人

議長	しきなせいき 識名 盛紀	副議長	とうまさとし 当真 聡
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	14	13	R3.5.11
	常任委員会 総務財政、建設 文教	党派構成 公明 共産 無所属	- - - - -
	1	1	11 - - - - -

沿革

昭和24年4月1日	大里村より分離 町制施行
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	R元~R10	中長期財政計画	R2~R11
基本計画	R元~R5	(10年計画	1年ローリング)
実施計画	R元~R3	(3年計画	1年ローリング)

〈令和3年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	親川拝所整備事業(建設工事他)	継続	210
補助	与那原東小学校建設事業(教室増設)	新規	113
補助	保育所等整備交付金事業(2園増改築)	継続	98
-	-	-	-

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	次世代を担う人材育成事業	H24~R3	869
補助	与那原町観光振興事業	H24~R3	430
-	-	-	-
-	-	-	-

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈町の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

町花	ハイビスカス・デイゴ	町木	リュウキュウコクタン
町鳥	-	町魚	ヨナバルマジク
名所・旧跡	与那原親川、御殿山、三津武嶽、久場堂、久場堂赤木、前の井、久茂久岩、運玉森、宇地原子墓、宗之増、雨乞森		
祭り、行事	与那原大綱曳まつり、与那原町文化フェスティバル、当添ハーリー、町民平和の日		
名産・特産	ひじき、与那原そば、赤瓦、陶器、赤瓦コースター、小倉シュウ、ひじきジュシーの素、パイナップルポーク純		
姉妹都市	-		
その他	県営軽便鉄道与那原駅舎(H26.3.31復元) ギネス記録樹立(H27.2.1ロングヒューマンタオルチェーン)		

〈広域市町村圏・広域計画〉

南部広域市町村圏
-
-
-

〈基地面積〉 (R2.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
合計	0.0 ha 0.0%
県面積に占める割合	0.00%

〈教育〉 (令和2年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
公立幼稚園	0園	0人
町立幼稚園	2園	93人
町立小学校	2校	1,479人
中学校	1校	681人
町立	1校	681人
町立以外	0校	0人

〈医療〉 (令和元年度)

区分	施設数	病床数
病院	1箇所	170床
町立	0箇所	0床
町立以外	1箇所	170床
診療所	14箇所	0床
町立	0箇所	0床
町立以外	14箇所	0床
住民千人当たり病床数		8.5床

〈財政〉

① 決算収支 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
歳入総額	7,472	7,459	8,419
歳出総額	7,298	7,256	8,359
形式収支	173	203	59
実質収支	151	92	52
比率	3.9%	2.3%	1.3%
積立金	0	0	0
積立金取崩額	120	100	100
実質単年度収支	△ 286	△ 159	△ 140

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (R元年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	0	254	75
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	0	0	-
後期高齢医療事業	△ 1	40	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入金
法非適			
下水道事業	6	193	117
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適			
上水道事業	24	1	0
-	0	0	0
-	0	0	0

④ 歳入の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	1,805	21.4%
地方譲与税	35	0.4%
地方交付税	1,868	22.2%
普通交付税	1,746	20.7%
特別交付税	122	1.4%
国庫支出金	1,404	16.7%
県支出金	1,016	12.1%
地方債	929	11.0%
その他	1,362	16.2%
歳入総額	8,419	100.0%

⑤ 歳出の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	1,120	13.4%
物件費	1,210	14.5%
扶助費	2,377	28.4%
補助費等	817	9.8%
公債費	540	6.5%
普通建設事業費	1,453	17.4%
補助事業費	1,169	14.0%
単独事業費	283	3.4%
その他	842	10.1%
歳出総額	8,359	100.0%

〈産業〉 ① 産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	136人	1.8%
第2次	1,211人	15.9%
第3次	6,259人	82.3%
合計	7,606人	100.0%

〈福祉〉

区分	施設数	収容定数
保育所(R2.4.1)	9箇所	841人
町立	1箇所	70人
町立以外	8箇所	771人
生活保護率(R元年度平均) 人口千人当たり		21.47人

② 町内総生産 (H29年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	162	0.4%
水産	208	0.5%
鉱・製造	928	2.4%
建設	5,775	15.2%
電気ガス水道廃棄物	1,398	3.7%
運輸・郵便・通信	1,083	2.9%
卸売・小売	4,542	12.0%
金融保険不動産	7,857	20.7%
宿泊・飲食サービス	1,320	3.5%
専門・科学技術支援	1,312	3.5%
公務・教育	5,707	15.1%
保健衛生社会	5,730	15.1%
その他サービス	1,859	4.9%
合計	37,881	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.47	0.48	0.49	15	0.39	0.55	0.33
標準財政規模 a	3,870	3,932	4,039	19	8,519	23,170	3,148
経常収支比率	89.9	90.2	92.1	30	89.6	91.1	86.0
人件費	23.2	23.0	22.9	9	23.6	22.9	25.4
扶助費	12.7	13.6	16.3	32	17.2	20.6	8.5
公債費	12.3	12.7	12.6	12	14.1	14.3	13.3
物件費	12.2	12.6	12.4	5	15.1	14.8	16.1
その他	29.5	28.3	27.9	37	19.6	18.5	22.7
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	5.3	5.3	5.7	12	7.5	8.0	6.4
将来負担比率	33.8	25.5	50.2	-	23.0	39.9	-
税徴収率	98.7	98.7	98.8	3	0.0	0.0	0.0
現年課税分	99.3	99.4	99.5	3	0.0	0.0	0.0
滞納繰越分	41.6	42.3	42.2	12	0.0	0.0	0.0
債務負担行為額 b	355	2,445	2,980	-	-	-	-
b/a %	9.2	62.2	73.8	-	-	-	-
地方債現在高 c	6,097	5,985	6,421	-	-	-	-
c/a %	157.6	152.2	159.0	16	-	-	-
積立金現在高	2,069	2,123	1,900	-	-	-	-
財政調整基金	1,530	1,517	1,509	-	-	-	-
減債基金	107	107	107	-	-	-	-
その他特目基金	432	499	284	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	85,976	86,928	90,323	10	-	-	-
自主財源比率	33.5	34.6	33.5	17	-	-	-

〈行政の特色〉

先人の培ってきた歴史と文化を継承し発展させ、安全で快適な生活環境をはぐくむとともに、人権が尊重されるまちづくりを目指します。
また、住民一人ひとりが、まちづくりの主役として個性と創造力を発揮し、住み・働き・学び・集うすべての人との協働により、活力あるまちを創造します。